

浜松市防災都市づくり計画(案) に対するご意見ありがとうございました

市民の皆さんからの提出意見と
その意見に対する市の考え方の公表



令和7年10月に実施しました浜松市防災都市づくり計画(案)に対する意見募集(パブリック・コメントの実施)に貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

意見募集を行った結果、市民等28人から63件のご意見が寄せられましたので、それらのご意見とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見につきましては、項目ごとに整理し、適宜要約し掲載しております。

また、お寄せいただきましたご意見を考慮して、「浜松市防災都市づくり計画」を策定し、令和8年3月からの実施を予定しています。今後とも、浜松市防災都市づくり計画に対するご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この内容は、市ホームページ (<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>)にも掲載しております。

令和8年3月

浜松市都市整備部都市計画課

〒430-8652 浜松市中央区元城町103-2

TEL 053-457-2371

FAX 050-3737-6815

Eメールアドレス

toshikei@city.hamamatsu.shizuoka.jp

募集結果

【実施時期】	令和7年10月1日から令和7年10月30日			
【意見提出者数】	28人			
【意見数内訳】	63件 (提案10件、要望33件、質問17件、その他3件)			
【提出方法】	電子メール(19) 説明会等(44)			
【案に対する反映度】	案の修正	8件	今後の参考	5件
	盛り込み済	6件	その他	44件

目次

全体(意見数6件) P2
◇共通編	
第1章 防災都市づくり計画策定の背景と目的(意見数2件) P3
第2章 防災都市づくり計画の位置付けと構成(意見数10件) P3~5
◇防災・減災編(地震)	
第1章 浜松市の地震災害に対する危険性(意見数7件) P5~6
第2章 防災都市づくり計画の将来像・基本方針(意見数0件)	
第3章 地震災害に対する具体的な取組(意見数8件) P6~7
◇防災・減災編(水災害)	
第1章 浜松市の水災害ハザード(意見数2件) P7
第2章 浜松市の水災害リスク(意見数0件)	
第3章 防災都市づくりにおける将来像・基本方針(意見数1件) P8
第4章 水災害に対する具体的な取組(意見数0件)	
◇事前復興編	
第1章 事前復興編について(意見数4件) P8
第2章 復興まちづくり方針の検討(意見数2件) P9
第3章 都市復興のプロセス(意見数5件) P9~10
◇共通編(計画の進行管理とロードマップ)(意見数7件) P10~11
その他(意見数9件) P11~12

全体（6件）

提案 1	「取組み」と「取組」と「取り組み」が本文内で使用されているが使い分けをしている理由が文脈から伝わってこない。理由を明記してほしい。特に理由がないのであれば統一してはいかがか。
---------	---

【市の考え方】案の修正

頂いたご意見を踏まえ、公用文のルールに基づき「取組」へ統一します。

提案 2	生命や命といったような類似する言葉の使用がいくつみられる。明確な理由があって使い分けしているのであればいいが、理由がないのであれば統一してはいかがか。
---------	---

【市の考え方】案の修正

頂いたご意見を踏まえ、「命」へ統一します。

要望 1	「等」を乱用しているように見える。それぞれの「等」は何と何を含んでいるのか。読んでみると気になる。
---------	---

【市の考え方】その他

ご意見として承ります。

要望 2	全ての評価結果において、もっと具体的に記載したほうが分かりやすい。
---------	-----------------------------------

【市の考え方】その他

ご意見として承ります。

要望 3	様々な部署が関わっているため、整合性が取れて漏れないように進めていただきたい。
---------	---

【市の考え方】その他

ご意見として承ります。

その他 1	自助・共助は、国や地方自治体の公助が十分にあってこそ自助・共助が活かされると考える。
----------	--

【市の考え方】その他

ご意見として承ります。

共通編 第1章 防災都市づくり計画策定の背景と目的（意見数2件）

提案 3	1-1 計画策定の背景 「ゲリラ豪雨」という表現でよいか。報道用語であり、正式な用語ではなく、降雨量などの定義も不明確である。気象庁では「局地的大雨」と表現されている。ゲリラ豪雨を定義し他の計画との言葉の整合性をとるか、この計画では正すか。
-----------------	---

【市の考え方】案の修正

頂いたご意見を踏まえて、以下の通り修正します。

〈修正前〉ゲリラ豪雨

〈修正後〉局地的大雨

要望 4	1-4 防災都市づくりにおける将来像 「浜松市総合計画」や「浜松市都市計画マスタープラン」で掲げるどのような目標やどのような計画策定の視点を踏まえて設定したのかを記載してもらえると丁寧で、市民目線で書いてくれているなど感じる。
-----------------	--

【市の考え方】その他

ご意見として承ります。

共通編 第2章 防災都市づくり計画の位置付けと構成（意見数10件）

質問 1	「浜松市防災都市づくり計画」の位置付けを教えてください。
-----------------	------------------------------

【市の考え方】その他

「浜松市地域防災計画」と「浜松市都市計画マスタープラン」をつなぐ計画として位置付けています。

質問 2	本市の防災計画を教えてください。
-----------------	------------------

【市の考え方】その他

「浜松市地域防災計画」等があります。

質問 3	なぜ浜松都市計画区域を対象にしたのかが説明されていないため、分からない。都市計画区域外は対象にしなくて大丈夫なのか、なぜ大丈夫なのか説明が必要。今後検討するのか、他課で実施するのか。
-----------------	---

【市の考え方】その他

災害リスク分析に必要な建物分布、建物高さ等の都市情報を保有している都市計画区域を対象としています。

都市計画区域外は、本計画による評価・分析等を活用し、市域全体の防災都市づくりが推進できるよう、関係部局と連携し取り組んでいきます。

質問 4	この計画案は都市計画区域を対象としているが、区域外はどう考えているか。
---------	-------------------------------------

【市の考え方】 その他

都市計画区域外は、本計画による評価・分析等を活用し、市域全体の防災都市づくりが推進できるよう、関係部局と連携し取り組んでいきます。

質問 5	浸水被害があった天竜の船明地区は、計画の対象区域か。
---------	----------------------------

【市の考え方】 その他

船明地区は対象区域に含まれています。

質問 6	引佐町は都市計画区域の内外にまたがるが、有事の際には区域外は支援しない、ということではないという認識でよいか。
---------	---

【市の考え方】 その他

ご認識のとおりです。

質問 7	都市とはどのようなものを指すのか。
---------	-------------------

【市の考え方】 その他

都市とは都市計画区域を指します。

提案 4	浜松市において「地震、洪水」以外も復興が必要となり得る大規模災害の可能性があるのであれば明文化しておいたほうがいいのではないか。
---------	--

要望 5	地震と水災害については記載があるが、竜巻等の風災害について記載が無い。対象としていないのか。
---------	--

【市の考え方】 案の修正

災害リスク分析は公表されている被害想定等に基づき実施しています。風災害は被害想定が公表されていないため本計画の対象としていませんが、風災害においても大きな被害が起こり得ることから、復興 - 40 の記載を以下の通り修正します。

〈修正前〉復興まちづくり方針図はあくまで目安であり、実際の被害状況や地域のまちづくり機運、課題等を踏まえ、復興まちづくりを進めます。

〈修正後〉復興まちづくり方針図はあくまで目安であり、実際の被害状況や地域のまちづくり機運、課題等を踏まえ、復興まちづくりを進めます。また、地震、洪水以外の災害により大規模被害が発生した場合も、本方針を踏まえ復興まちづくりを進めます。

提 案 5	2-4 計画の構成 防災都市づくり計画は、以下の 4 編により構成します「。」（句点が抜けている）
----------------------	--

【市の考え方】案の修正

頂いたご意見を踏まえて、句点を追加します。

防災・減災編（地震） 第 1 章 浜松市の地震災害に対する危険性（意見数 7 件）

提 案 6	1-1 浜松市の地震災害履歴 浜松「地方」とはどこを指すのか説明がなく分からない。
----------------------	--

【市の考え方】案の修正

頂いたご意見を踏まえて、以下の通り修正します。

〈修正前〉浜松地方

〈修正後〉本市

要 望 6	1-4-1 (1) 被害の拡大過程 図において、被害と要因が同色で設定されているが違うことを視覚的に分かりやすく色をかえてはどうか。
----------------------	---

【市の考え方】その他

ご意見として承ります。

質 問 8	年度更新データで差し支えがないのであれば浜松市資料の令和 5 年データを使用してはどうか。新しいデータがあるのに使わない理由がない。
----------------------	--

【市の考え方】その他

評価検討時点の最新データを使用しています。今後の計画見直し時に、最新のハザード情報を収集し分析を行います。

要 望 7	「閾値」は、市民では使い慣れておらず理解に時間を要するため、説明があると丁寧である。
----------------------	--

【市の考え方】その他

ご意見として承ります。

要 望 8	上下水道等の地下埋設物が地震により損傷し陥没することや、液状化によりマンホールなどが地上へ飛び出し交通障害になる可能性は考慮しないのか。
----------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

災害危険度判定調査の道路閉塞確率では、静岡県第 4 次地震被害想定 of 液状化の危険度等を用いて分析を行っています。

質問 9	篠原地区について、津波による災害や、液状化現象に関しても検討が必要ではないか。
-----------------	---

【市の考え方】 その他

災害危険度判定調査の道路閉塞確率では、静岡県第4次地震被害想定液状化の危険度等を用いて分析を行っています。

津波災害については、「浜松市津波防災地域づくり推進計画」において、目標や基本方針等をお示しし、津波対策の取組みを推進していることから、本計画では災害ハザードの整理までとしています。

質問 10	篠原地区は、道幅が狭く、木造家屋が密集した地域であり、火災の危険性が高い地区と言われている。災害危険度判定調査の結果に、焼失棟数密度が高いエリアが示されているが、その中に篠原地区が含まれていないのはなぜか。
------------------	---

【市の考え方】 その他

篠原町内には、局所的に危険度の高い区域はありますが、災害危険度判定調査は、町丁目単位で分析・評価を行っているため、局所的な危険度は平均されています。

防災・減災編（地震） 第3章 地震災害に対する具体的な取組（意見数8件）

要望 9	避難行動要支援者名簿をもらってもどうすればよいか分らず、不明確なまま運用されていると思う。 災害の際に支援ができる状況であるとは限らないため、運用を考えてほしい。
-----------------	--

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

要望 10	市民の防災意識の醸成に防災訓練が記載されているが、この計画の策定に伴い、住んでいるエリアがどういうリスクがあり、どういう対応が求められる可能性があるのかを含めた新たな試みを含めた防災訓練についても言及するのはいかがか。計画を策定したのに市民は今までの行動と変わらないでは、この計画がもったいないと感じてしまう。
------------------	---

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

要望 11	これからは自主防災隊が真剣に、崩落の可能性のある箇所の対策の検討や、災害時の役割分担等を考え、話し合っていかなければいけない。行政には、こういったことを皆さんで考えてください、というのを示してもらいたい。
------------------	--

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

要望 12	災害に備えて、地域コミュニティの形成や避難所計画の立案が重要。公助が来るにはどうしても時間がかかってしまうため、自助・共助をより強化していただいて、災害復興に向けて取り組んでいただきたい。
------------------	--

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

要望 13	医療体制等に関する自助・共助の取組について。AED だけでなく、洪水が起こった際の感染症を防ぐ取組等の簡単な医療について、防災訓練などで取り組んでいけるとよい。
------------------	--

要望 14	地域の防災訓練について、どうしていけばよいか、指導してもらいたい。
------------------	-----------------------------------

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

要望 15	震災復興において、震災で土地の境界位置がズレてしまうこと等が課題となっている。
------------------	---

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

要望 16	非常に良い取組である。 全国的に水道インフラの老朽化が進んでおり、計画的に地道に更新していかないといけない。 災害時に生きていくために必要となる水道の復旧・復興は特に重要であり、危機感を持ってやっていかないといけない。 国に先駆けてできるところはどんどん手を打つ必要がある。
------------------	--

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

防災・減災編（水災害） 第1章 浜松市の水災害ハザード（意見数2件）

要望 17	河川の多くは山間部に上流がある。二俣地区にある「嘯月橋」の崩落が上流からの流木等で起こされたため、河川による被害想定をするべきではないか。
------------------	---

要望 18	山間部等上流からの流木等による被害については想定していないのではないか。河川による被害を想定するのであれば、山間部等上流の事情も含めて計画を策定するべき。
------------------	---

【市の考え方】 盛り込み済

河川については、洪水浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域等により分析を行っています。

防災・減災編（水災害） 第3章 防災都市づくりにおける将来像・基本方針（意見数1件）

その他 2	水災害リスクを最小化すればいいのか。水災害の被害を最小化しなければならぬのではないかと感じてしまう。
-----------------	--

【市の考え方】 その他
ご意見として承ります。

事前復興編 第1章 事前復興編について（意見数4件）

質問 11	能登半島地震の被災地でも、あらかじめ事前復興まちづくり計画があり、それに基づいて復興が進められているのか。
-----------------	---

【市の考え方】 その他

国の報告書では、石川県内の市町村では、能登半島地震の発生前に事前復興まちづくり計画が策定されておらず、復興事前準備や事前防災の取組が十分に行われていなかったことが課題として整理されています。

質問 12	能登半島地震後の復興では、瓦礫撤去等に時間を要した結果、被災者が避難先で定住し地域コミュニティが失われたことが課題とされている。浜松市はどんな策を講ずるのか。
-----------------	---

【市の考え方】 その他

円滑、速やか、かつ適切な復興のため、計画策定後も復興事前準備の取組を推進します。

要望 19	復興の際に空き家があるとその所有者等と連絡がつかず、復興が滞ることが指摘されている。空き家対策について検討していただきたい。
-----------------	--

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

要望 20	災害の際に弱者となるのは高齢者である。高齢者にとっては、なるべく被災前と変わらない環境、コミュニティで生活できることが幸せであるとする。復興の際に留意していただきたい。
-----------------	--

【市の考え方】 今後の参考

頂いたご意見は、今後の参考とします。

事前復興編 第2章 復興まちづくり方針の検討（意見数2件）

要望 21	この計画は主に道路や上下水道等の公共インフラの復興を念頭に置いているように見受けられるが、民地の復興についても検討が必要ではないか。
----------	--

【市の考え方】その他

復興-40の復興まちづくり方針図は、民地を含めた復興まちづくりについて、方針をお示ししています。

要望 22	修復型復旧について、地区計画等のまちづくりルールを組み合わせたまちづくりを検討していくとある。浜北地域の中でも危険の多い箇所については、優先的に検討をお願いしたい。
----------	--

【市の考え方】今後の参考

頂いたご意見は、今後の参考とします。

事前復興編 第3章 都市復興のプロセス（意見数5件）

提案 7	3-2-2(1)被災状況の調査・被災状況図の作成 「発災から1週間」の市民の役割欄の記載は、撮影は発災直後の『片付ける前に』などの分かりやすい言葉を付け加えた方がよいのではないか。
---------	---

【市の考え方】案の修正

頂いたご意見を踏まえて、以下の通り修正します。

〈修正前〉後の罹災証明書取得のため、発災直後の自宅の様子等を撮影し、被害状況を記録する。

〈修正後〉後の罹災証明書取得のため、被災後、片付け前の自宅の様子等を撮影し、被害状況を記録する。

要望 23	罹災証明に向けた写真撮影は、安全なところから行うよう啓発に努めてもらいたい。
----------	--

【市の考え方】その他

ご意見として承ります。

要望 24	被災時は、罹災証明書がないと家屋の撤去作業等に手が付けられず前に進めない。被災状況の記録方法について写真撮影だけでなくビデオ撮影等の代替の対応策をお願いしたい。
----------	--

【市の考え方】その他

ご意見として承ります。

要望 25	復興まちづくり計画は個人の生活にも影響してくるため、計画を策定する際には、地域住民の意見を聴き、合意形成を図った上できめ細かく取り組んでほしい。市民との話し合いの中で、都度見直しを行い、今まで以上に地域住民の声を反映した仕組みづくりをお願いしたい。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

ご意見を踏まえ、実際に災害が発生した際には、きめ細かく取り組んでいきます。また、速やかな復興には、地域住民との円滑な合意形成が重要であるため、計画策定後も平時からワークショップ等により市民の皆様の意見を聴きながら、復興事前準備の取組を推進します。

質問 13	大きな災害が発生すると、資機材や人材が中々集められないという話を聞く。また、市民協働による防災の仕組みづくりも、広く住民に浸透させ作るのはとても難しい。 計画を実行する上で、お金や人材、資機材の調達に関して、地域住民への合意形成をどのように図っていくのか。
------------------	---

【市の考え方】その他

大規模災害発生時は、復興-42 で示す行動計画等に則り、復興を進めていきます。なお、速やかな復興には、地域住民との円滑な合意形成が重要であるため、計画策定後も復興事前準備の取組を推進します。

共通編（計画の進行管理とロードマップ）（意見数7件）

要望 26	新たなまちづくりや防災に関しては、地域、自治会との連携が欠かせない。その旨を特記し、まちづくりを進めていただきたい。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

共Ⅱ-1等で、市民等との連携が欠かせないことから、市民と行政が協働で取り組むことの重要性を記載しています。

その他 3	地域の方々から意見を伺ったうえで、災害の対策を進めていかなければいけない。
------------------	---------------------------------------

【市の考え方】その他

ご意見として承ります。

提案 8	本計画の中で、市民と行政が役割を認識して協働で取り組むことが重要とあり、その際、自治会との連携が大事になる。自治会に投げて終わりとしなないようにしてほしい。
-----------------	--

【市の考え方】今後の参考

頂いたご意見は、今後の参考とします。

提案 9	ロードマップにおいて、R7 に策定するのであれば R8 以降に地域住民とのワークショップを実施するのではなく、策定後直ちに実施したほうが良いのではないかと。「地域の思いをのせた」といっているのに、計画策定中の今、一部地域に入って、その内容を本計画に反映してもいいぐらいだと感じる。
-----------------	--

【市の考え方】 今後の参考

頂いたご意見は、今後の参考とします。

質問 14	この計画案に掲げられている具体的な取組について、数値目標等を明確化し、検証を重ねていくのが望ましい。
------------------	--

【市の考え方】 その他

具体的な取組は、国土強靱化地域計画等で示される数値目標を活用しフォローアップしていきます。

提案 10	本計画を防災意識の醸成の契機とするのであれば防災意識や行動特性等の変化を定性的、定量的に評価してはどうか。市民の防災意識が〇パーセント上昇など。(PDCA)
------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

頂いたご意見は、今後の参考とします。

質問 15	今後のロードマップが示されているが、計画の見直しについては、5年くらいで見直していくことを考えているのか。
------------------	---

【市の考え方】 その他

本計画は、立地適正化計画の一部である防災指針として位置付けするもので、おおむね5年ごとに行う立地適正化計画の見直しと合わせて、必要に応じて見直しを行います。その中で、ハザードの大きな見直し等、まちづくりに対し影響があるようなものがあれば、必要に応じしっかりと検討していきます。

その他（意見数9件）

要望 27	伊豆市の土肥に津波避難複合施設（テラス オレンジ トイ）がある。津波避難タワー施設内には水や食料が備蓄され、平時は観光施設として使用できる。
------------------	--

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

要望 28	市役所や消防署が壊滅的な被害を受けた場合や産業展示館を起点とした物資の輸送が滞る可能性を考えて、高台地域にサテライトの施設を設けておくことも重要である。
------------------	--

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

質問 16	建築基準法第 42 条で定める 2 項道路（幅員が 4 メートル未満の道路）に面した土地に家を建てる場合、セットバックは必須か、それとも行政指導だけなのか。
-----------------	--

【市の考え方】 その他

2 項道路に面した土地で家を建てる場合は、セットバックが必須となります。

質問 17	現在、地区ごとに災害が起こった場合の避難場所が大体決められているが、防災都市づくり計画を策定する中で、新たに避難場所が変わっていくことあるのか。
-----------------	--

【市の考え方】 その他

避難場所は、「浜松市地域防災計画」で定められており、防災都市づくり計画の策定によって変更することはありません。

要望 29	一般の市民は浜松市防災都市づくり計画が策定されることを知らない方も多と思われる。パブリック・コメント以外の手段による周知、啓発が必要ではないか。
-----------------	--

要望 30	パブリック・コメントの実施（防災都市づくり計画の策定）について、自主防災隊連合会や自治会連合会にも共有してもらいたい。
-----------------	---

要望 31	パブリック・コメントについて市民がどの程度見ているのか、疑問に感じている。 パブリック・コメントで意見を求めたいのならば、案を見る機会をもっと増やさないといけない。ダイジェスト版や、チラシを作るなど検討が必要ではないか。
-----------------	---

要望 32	この防災都市づくり計画だけではなく、浜松市のこと、未来のことを考えるのに、高校生とか、若者の力、すごく大事である。 もっと高校生の目に触れ、若者が浜松市のことを気にかけて、意見をもらえる仕組みを作っていただきたい。
-----------------	--

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

要望 33	本計画の業務に携わっていない職員に一読してもらい、理解できるか、疑義がないか時間があれば試してほしい。
-----------------	---

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。